

ファーム伊達家からのおたより

ようこそ畑へ

2008年11月10日(月),11月13日(木) VOL.22

【寛記】

2008年ファーム伊達家・旬の野菜セットは今回が最終回です。21回に渡り、無肥料無農薬の自然栽培の野菜をお届けしてきましたが、いかがだったでしょうか。

昨年よりは改善したと思いますが、毎回の野菜の量に変動があり、少なめの時があったり、6月、7月は葉物野菜が多めに届いたりと多少ご不便をおかけしたかもしれません。できるだけ毎週均等な量をお届けしたいと考えて作付けしているのですが、なかなかこちらの思い通りにはいきません。来年に向けて、より一層工夫を重ねていきたいと思います。

お時間があれば、今年の野菜の感想を教えてください。改善してほしいこと、ちょっと困ったことなども教えてもらえると嬉しいです。

先日、今年初めて豊作だったハウスのナスの片付けをしました。支柱を抜き、一株一株抜き取って行きました。どの株も太い根がたくさんあり、その太い根から細かい根が無数に出ており、こんなに立派なナスの根は初めて見ました。

無肥料無農薬の自然栽培では、作物が根をしっかりと張れるかどうかが重要です。先週のおたよりに書いた木村秋則さんは、土の上ではなく、土の中を見て、根がしっかりと張れるような土を作っていくことにより、枯れそうになっていたリンゴが生き返ったと言います。

僕たちは、とにかく目に見えるものや表面の現象だけを見て一喜一

憂し、表面だけ何とかしようとしがちですが、何事も目に見えない部分にもしっかり目を向けて、見える部分・見えない部分をバランスよく見つめながら、じっくりと腰を据えて物事に取り組んでいく必要があるのだと思います。

畑と、野菜と向き合っていると自分の生き方にも思いをめぐらすことが時々あります。旭川でお世話になった農家の浅野晃彦さんは「農作業の時間は哲学の時間なんですよ。」と言っていました。作業に追われてそんな余裕はない時もありますが、確かに野菜と向き合う時間はいろいろなことを考え、感じる時間でもあります。

人間は農業がなければ生きていけません。農業は農家だけのものではなく、農産物を食べる皆さんのものでもあります。皆さんが伊達家の野菜を食べて下さることは、ファーム伊達家の農業を支え、農地を守っていくことになります。皆さんはこの約5ヶ月間、僕達と一緒に畑を耕しつづけたことになります。よかったら来年も一緒に畑を耕し続けていきませんか？

来年の6月末まで（長いですね。）野菜はお休みですが、より一層おいしくて、食べて幸せを感じられるような野菜をお届けできるよう、冬の間もしっかり勉強して、来シーズンに備えます。

約5ヶ月間本当にありがとうございました。

【愛子】

「伊達さんは有機農法ですか？」「こだわっている農法とは聞いていたけど、こういうやり方だったとは、目からウロコです。」前者は時々聞かれる質問ですが、答えはNoです。後者は以前からお世話になっている方が、先月、友人を連れて来てくださった時の感想です。

有機農法では、鶏ふんや牛ふん、大豆カス、米ぬかなどを時間をかけて発酵させた肥料など植物・動物由来の肥料を使います。日本

では0.2パーセントが有機農法をされているそうです。

伊達家は無肥料無農薬の自然栽培に取り組んでいます。畑に来てくださった方がおっしゃっていたのが、「春に畑をやるぞーと思って、まず用意するのが肥料だね。」それが当然かなと思います。私もそう思っていました。農業を知り、農業をやりたいなと思ってから、色々な農法を見たり聞いたりしてきて、私たちは無肥料無農薬の自然栽培に出会いました。これは、おもしろそうだと・・・。

豊滝で4年目のシーズンを終えようとしています。おもしろそうと思い始めてみたものの、うまくいかないことの連続でもありました。しかし、皆さんに支えられ、励まされ、なんとかここまでやってこれました。ありがとうございます。

セットの中には曲がったキュウリや虫くいのある葉物野菜など、スーパーなどでは見かけない、一般的には規格外になるような野菜もあり、驚いた方もいらっしゃるかもしれません。信じてもらえないかもしれませんが、無肥料無農薬の自然栽培の野菜も究極になると、芸術品のように美しい姿になるということです。そうなるまでにあと何年かかるでしょうか・・・。

今後とも、伊達家のお野菜とお付き合いいただければ幸いです。そして、美しい姿になっていくのを見ていただけたらと思います。

11月に入り、畑には雪が積もったり、融けたりしています。また、雪が融けた春に畑に来ていただいて、農業の話、おいしい食べ物の話ができればいいなあ、と思っています。

ありがとうございました。

【長男（小5）より】

みなさん、お待たせいたしました。（楽しみにしていなかったかもしれませんが。）こんにち、長男です。

今年は、僕の作った野菜が販売できませんでした。（～__～）

去年お父さんが販売できなくて、今年お父さんが販売できた野菜を一つ紹介します。

それは、白菜です。

白菜は2年目にうまくなって、去年はできなくて、今年はうまくいきました。うまくいった原因は、苗の育ちです。

去年は苗の育ちが悪く、定植時期が遅くなり玉になりませんでした。しかし、今年は苗の育ちも順調でいい時期に定植できて、いい玉になりました。

下の写真を見てわかる通り、よく玉になってくれました。（右側に人が写っていますが？ 撮って撮ってうるさかったので、撮りました。長女です。）



今年一年ありがとうございました。

伊達家の食卓

【太ごぼう】

普通のごぼうよりも太くて短い「太浦太ごぼう」という品種です。太くなると「ス」が入りやすい品種ですが、スが入っても柔らかくて味わい深い品種です。収穫量が少ないので、カットしてほんの少しずつお届けしますので、ちょっと味見してみてください。